



大渡 啓介 教授が化学工学会 論文審査貢献賞を受賞

【概要】

2020 年 4 月 9 日（木）に、化学部門の大渡 啓介 教授が、化学工学会から質の高い公平な審査を数多く行った査読者を表彰する論文審査貢献賞を受賞しました。

【本文】

化学工学は、化学のための工学であり、合理的な化学プロセスの開発・設計・操作を目的とする学問です。化学工学会はそのための人材育成や、それらの成果の社会への有機的還元を目的として組織され、研究活動として 14 の部会、また地方の 7 支部を含む学会として活動しています。

化学工学会には、1968 年に創刊された英文誌「Journal of Chemical Engineering of Japan」と、1975 年に創刊された和文誌「化学工学論文集」の 2 つの学術論文誌があります。現在は 1 年間に各 6 号発刊され、1 つの論文につき 2 名の査読者による厳正な審査が行われています。大渡教授が受賞した論文審査貢献賞は、これらの学術論文誌に投稿された論文に対して、質の高い公平な審査を数多く行った査読者を表彰するもので、大渡教授の貢献が高く評価されたものです。なお、大渡教授は 2017 年にも受賞しており、今回で 2 度目の受賞となりました。



論文審査貢献賞



論文審査貢献賞は、毎年、化学工学論文集および Journal of Chemical Engineering に投稿された論文につき、質の高い公平な審査を数多く行った査読者を表彰するものです。受賞者は以下の通りです。
(掲載順：五十音順)

2019 年度

- 大渡 啓介氏 (佐賀大学)
- 甘蔗 寂樹氏 (東京大学)
- 五島 崇氏 (鹿児島大学)
- 小林 信介氏 (岐阜大学)
- 原田 浩幸氏 (県立広島大学)
- 深井 潤氏 (九州大学)

賞のホームページ：化学工学会論文貢献賞受賞者

(<http://www.scej.org/award/other-awards/award-judge.html>)